

北海道札幌あいの里高等支援学校 学校だより

青 藍

令和5年度 第4号 2024年3月22日発行



学校の空気感

校長 伊藤友紀

以前ある雑誌で読んだなかに「学校の空気感」という言葉がありました。学校の空気をつくっているのは、在校時間の長い私たち教職員、生徒だけではなく、保護者の存在、設置者（道教委）の思い、開校から今日までの歴史、関わりのある地域や事業所、そのようなもの全てが空気をつくることに関わってきます。では、学校の空気はどうあればいいのか。抽象的な言い方をすると、学校は学びの場であり生徒の発達場ですので、その場にふさわしい静謐とか、凛とした、それでいて温かい、優しい、そのような空気になるのでしょうか。また、活気がある、生き生きとしている、躍動感がある、そんな空気もあります。

学校の空気感を高めるためには、私たち教職員が心掛けなければならないことが幾つかあると思っています。当たり前の話ですが、言葉遣いは丁寧にいかなければなりません。呼び捨てはもちろん厳禁ですし、大きな声で相手を制するような言葉がけは慎まなければなりません。服装はスーツを基本として教育活動にふさわしい服装が求められます。学校によっては職員のほとんどが運動着や作業着でいる学校もありますが、本校はそれを許していません。教育環境としての教職員の服装があり、言葉遣いがあり、所作があることが、開校から職員間で共通理解がされてきました。

そして、なによりも大事なのが授業の充実です。在籍する生徒の学びの特性に合わせ、「本物で学ぶ」「五感で学ぶ」「具体的な経験で学ぶ」ことが重要であり、教材・教具等の工夫が必要です。教科書だけの学びではなく、また、話し合い活動ばかりではなく、具体的に学ぶことが計画されなければなりません。つまらない授業の学校に、いい空気は流れません。

令和5年度の一年間、校内ではさまざまな事案がありましたが、生徒の大きな事故や怪我には繋がることなく、無事に一年を終えることができました。学校に関わる多くの方々の御理解と御協力に感謝申し上げます。次年度においても、今年度同様「いい空気感」の学校を目指して経営を進めてまいります。引き続き御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

3 学年レクリエーション『エアー同窓会』を終えて思うこと

3 学年「100レク実行委員」の集大成として行った『エアー同窓会』。そもそも、「100レク」は、卒業までに100個のレクリエーションを実施しようという果てしない構想の無茶な企画。実際は、100個もできていないのですが、最後は、盛大な企画で締めようと考えていました。

2023年、年の瀬、3年生の先生達で様々な議論が行われていました。楽しいだけのレクも良いけれど学校で行うのだから何か柱になる目的が欲しい。そこで、私たちは、「生徒が自分自身を客観的に見ることで自己理解を促せないものか」と考えました。その一つの方法として出た案が未来の自分から今の自分を見つめるタイムスリップです。そこまで決まるとあとは早かった。タイムマシンの制作はできたかもしれませんが予算がなかったので、生徒が登校したらそこに20年後の世界を作っていました。生徒に大人っぽい洋服を着せ、化粧をし、「久しぶりっ」の挨拶で「かんぱーい」って同窓会を開幕したのです。給食を止め、飲み物とオードブル（唐揚げ、ウインナー、ポテトフライ、焼きそば・・・よく見ると茶一色）を用意し、ビンゴ大会やミニゲームを行い、35歳設定の生徒達は、疑似同窓会を楽しみました。さて、楽しいだけの学校行事はあり得ない。真面目な企画も。タイムカプセルを埋めていた設定でそれを披露した生徒や未来の自分から過去の自分へ手紙を書いた生徒、思い出の写真にポエムを詠んだ生徒、35歳の自分を想定し、近況報告を行った生徒もいました。遠い未来の自分たちは、過去の自分たちに「今という時間を無駄にしないで」「友達のおかげで素敵な学校生活があった」「もっと勉強しておけば良かった」などなど、今の自分を確実に客観視することができていました。



私たちの企みは、まずまず成功。そして、目的は、もう一つ。生徒達に世間が行っている「同窓会」というものを疑似体験し、知って欲しかった。何十年か経った時に自分たちで企画運営をして世間で行われている「同窓会」を実現して欲しいと考えていました。

同窓会は、卒業生にとって重要な機会であり、奇跡の瞬間です。同窓会は人間関係を再構築し、新たなつながりを築くための貴重な場です。卒業後、それぞれが異なる道を歩んでいるかもしれませんが、同級生と再会し、互いの人生の状況や経験を共有するチャンスです。たとえ思い通りの人生でなかったとしても、同窓会での再会は、勇気と希望を与えてくれます。歳月を経て、友人たちの姿を見ることで、自分自身にも再び挑戦する勇気が湧いてきます。過去の成功や困難を共有できるかけがえのないネットワークです。ぜひ、つながっていてください。いつも友達を心の片隅に置いていてください。決して自分から断ち切らないでください。なぜなら、得意なことも苦手なこともお互いを知り尽くした仲間達だからです。一緒に歌い、一緒に笑い、一緒に走り、一緒に叱られ、たくさんの共有できる思い出を持つ仲間達です。いついかなる時でも、お互い支え合うことができる友達です。在学中のようにいつまでも支え合える関係で居続けてください。君たちがいつまでもつながっていてくれるなら先生達は安心して遠くから君たちの人生を応援しています。

そして、在校生である1、2年生のみなさん。偶然が重なり合って出会ったクラスメイトは、必然の同窓生です。みなさんにとっての大切なネットワーク作りは、すでに始まっているのです。

（文責：3 学年主任 宮 崎 裕 也）



あいチャレンジ～資格・検定への挑戦



「あいチャレンジ」では、検定などに挑戦する生徒を応援するため、本校を会場に行う各種資格・検定料の半額を PTA が補助しています。今年度、行われた検定試験の合格者は次の通りです。

【日本漢字検定】10級(2名)9級(2名)8級(5名)7級(3名)6級(2名)5級(1名)4級(2名)
3級(2名)準2級(1名)2級(1名)

【日本語ワープロ検定】4級(2名)3級(4名)準2級(2名)2級(2名)準1級(1名)

【プレゼンテーション作成検定】3級(1名)

【環境・流通サポート科】

生徒の活動実績(R5 年度)

令和5年度アビリンピック北海道大会(障害者技能競技大会)ビルクリーニング部門 銀賞 2年生
パソコンデータ入力部門 銀賞 2年生

【普通科】探求チャレンジ・ジャパン ゼロカーボン賞 2年生

北海道地学協働アワード2023 地学連携活動賞

【美術】北海道知的障がい者芸術みんなあーと2023展示部門 入選 6名

【サッカー部】第22回北海道チャレンジドサッカー大会 3位

第13回北海道高等養護学校サッカー大会 優勝

第7回小野寺眞悟杯特別支援学校フットサル大会 4位

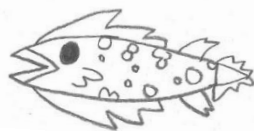
第23回北海道チャレンジドフットサル大会 フリークラス3位 フレンドリークラス4位

【バスケットボール部】第20回北海道 FID バスケットボール研修大会予選会 1位(男子)

第20回北海道 FID バスケットボール研修大会(本大会) 3位(男女)

【卓球部】第35回北海道障がい者卓球競技大会 個人3位1名、2回

体育館ステージで使用する「手すり付き階段」については、生徒の安全のため以前から購入を検討しておりましたが、予算不足のため購入が難しい状況がありました。この度、保護者の皆様にアンケートで御賛同いただき、卒業式に間に合うように PTA 会費で購入することができました。心より感謝を申し上げます。(文責：成 松 恵 美)



令和6年3月8日、令和5年度卒業式を挙行了しました。次のページに卒業生代表の答辞を掲載します。文字が小さくなったことをお詫びします。

イラスト：R5 年度 2 年生徒

